

# 山行報告

## ■国見山

## <ゆっくりズム>

- 日 程：12月16日(土)
- 参加者：L中村 SL藤原(千) 生永 江崎 岡田(淳) 澤田(律) 敷田 瀧原 春本 平井 松田 三木(知) 村上 安田 矢根
- 行動記録：国見の森駐車場(9:30着)9:40発～七本松休憩所(10:10着)10:20発～頂上展望所(10:55着)11:05発～展望休憩所(11:25着)12:00発～山頂駅(12:35着)13:40発～山麓駅(14:00着)

## ◆推し！ 国見の森公園 ミニモノレール

生永

国見山の山行に参加しました。12月とは思えない暖かさです。集合場所の駐車場からミニモノレールの軌道が見えます。モノレールは直登ですが 私達はジグザグ道を登ります。昨夜の雨でじっとり濡れた落ち葉の道を注意深く進み 七本松休憩所に到着。山に霧がかかり水墨画のようです。

ミニモノレールがすぐそばの軌道を じわりじわりと登って来ます。白に黄緑色のラインの車輦が2個連結して進んで来ます。小さくてかわいいけど 頑張ってます。乗客に手を振って私達も頑張って歩みを進めます。階段・階段・また階段。「一段が高すぎ」と文句たれながら よいしょよいしょと登り 山頂展望台に着きました。木造二階建ての立派な展望台です。標高465m。曇り空ながら素晴らしい景色です。ところが一転して寒くて寒くて長くは居られません。さらに進んで 東屋のあるところで昼食。ここも寒くて早々にきりあげてミニモノレールの駅へと向かいます。ミツマタの花が早くも咲き始めています。イイギリの赤い実がきれいです。ミニモノレールの山上駅のテラスで 温かい飲み物とお菓子をいただきほっこり～13時40分発のモノレールが登ってきました。「はばたん号」と「しーたん号」定員 各20名です。全員「しーたん号」に乗り込みます。最大傾斜角度38度 モノレールとしては日本一の急斜面です。高低差300mを18分かけて ゆっくりゆっくり下っていきます。おすすめは「しーたん号」の一番前の席です。スキージャンプ台で スタートを待つ選手の気分を味わえます。急斜面に差し掛かっても前のめりになりません。座席は水平のままです。不思議？料金は無料です。(兵庫県 太っ腹)

山行なのにミニモノレールのことばかり…雨が心配でしたが降ることなく楽しい山行となりました。リーダーのNさん同行の皆様ありがとうございました。



## ■クリスマス山行 六甲・摩耶山

●日 程：12月24日(日)

●参加者：

- 一般：L野村 白井 岡田(淳) 尾越 小田 乙坂 北川 坂本 高島 田羅間 土井 徳本 春本  
平井 福原 中村 松本(聡) 三木(悦) 村上 森本  
ゆっくり：L砂川(延) 石井 小野 田中(重) 安田

●行動記録：

- 一般：摩耶ケーブル駅 10:09 発～史跡公園(11:32 着) 11:38 発～摩耶山(11:55 着)  
12:30 発～行者堂分岐(13:22 着)～東山(13:57 着)～新神戸駅(14:55 着)  
ゆっくり：摩耶ケーブル駅 10:09 発～史跡公園(11:32 着) 11:38 発～摩耶山(12:05 着)  
12:30 発～行者堂分岐(13:30 着)～青谷(14:00 着)～新神戸駅(14:30 着)

## ◆クリスマス山行・摩耶山

松本(聡)

2・3日前から寒波が続いていて、念のため軽アイゼンを持って来るようにとのリーダーからのメールに少し緊張したものの、当日は寒波も少し緩み、山行に丁度良い天候・気温となりました。

計画書に三ノ宮駅～摩耶ケーブル駅～摩耶山・掬星台と書いてあったので、てっきりケーブルに乗って登るのだと思っていた私は「今回は楽勝」と思っていました。しかし、ケーブル駅には「12月1日から26日は設備点検のため運休」の文字。そりゃそうだよね、そんなに甘くないよねと心の中で反省。気を引き締め直してストレッチをしました。

参加者は25名と多かったので、ここでゆっくりチームとそうでないチームの2つに分かれ出発しました。



駅から少し住宅地を歩き登山口へ。登山道は歩きやすく快調に進むことが出来ましたが、途中の展望台に着く頃には薄っすらと汗をかいていました。晴れていれば神戸の街並みや大阪湾がきれいに見渡せたはずですが、この日は霧がかかり少し残念でした。小休憩と衣服調整をしてから史跡公園を目指しました。

しばらくすると「旧山上寺」の看板があり、見えてきたのは、果てしなく続く石の階段でした。お寺への参道として造られた階段なので上りやすくはありましたが、とにかく長かった……。やっと上りきると、そこにあると思っていたお寺は無く、建物があつたのであろう基礎のみが残るだけでした。だから「史跡公園」なんだと妙に納得。

そこからまた少し登って掬星台に着き、昼食となりました。風がでてきて、遮るものも無かったので、上着を着ても寒かったです。女性トイレが使用できないというアクシデントも発生したので、集合写真を撮り、摩耶山の三角点へ廻り早々に下山を開始しました。

上ってきた階段を下り、行者堂分岐から行者堂方面へ向かい、行者堂を過ぎて旧摩耶道へ。この道はとにかく細くて、片側には山肌が迫り、もう片側は斜面になっていて、その上落葉が重なっていて凹凸がわかりづらく、うっかりすると足を滑らして谷側へ落ちそうで、ドキドキしながら歩きました。

たどり着いた雷声寺でゆっくりチームをしばらく待っていたのですが、別ルートで降りて、既に新神戸駅へ着いているとの連絡がはいり、あわてて駅へ向かうというハプニングもありました。

山行を終え、恒例の「ごこば」でのお疲れさん会&クリスマス会&会長さんの復帰祝いにはぎやかで、ゆっくりお話をしたことのなかった方とお話もでき、とても楽しかったです。ありがとうございました。

## ◆「摩耶山 Merry Xmas 山行」

小野(祐)

摩耶山は初登山だったが、どのコースも見かけ以上にシンドイ山だと知り合いから聞いていた。前日のニュースで今冬シーズン最強寒波到来や初雪があり心配していたが、当日は和らぐ予報がでてひと安心。只、最後まで気を抜かず山行に臨んだ。

JR 三ノ宮駅からバスで摩耶ケーブル下まで行き、ストレッチ後、砂川会長リーダーのゆっくり組に入った。25人中5人のみで他全員はハイペース組である。10時過ぎにいざ出発。少し歩くと登山口があり広々とした山道階段が始まった。階段は枕木が敷かれ段差も低く歩き易く整備されていた。しかし登り始めると徐々に勾配もきつくなる。まだ風が弱く寒さ対策のダウン着では暑過ぎすぐに汗ばんできた。小休憩時にはダウンを脱ぎトレーナーだけで充分。

途中、神戸市街や海が一望できる見晴らし台からの眺めも最高だった。木立が切れた場所では風がぬけ、さらに標高が高くなるにつれ気温も下がり立ち止まると日陰は寒い。連続する登り階段でメンバーの口数も自然と少なくなった。

旧天上寺の山門を抜けると、旧天上寺まで石階段が「まだあるんかい！」と独り言がでる程続いた。段数は約400段もあり息がきれたが、会長のストックをつく音がリズム良く聞こえペースを乱すことなく史跡公園まで登れた。今日は会長もすこぶる元気だ。小休憩したあと、昼休憩の掬星台までの1Kmをひと登りし無事到着した。

既に先行組は昼食中であつた。我々も空いたベンチを見つけすぐに昼食タイムだ。青空だが流石にここまで登ると風が冷たく、再び防寒ダウンを着て持参おにぎりで腹を満たした。登山中にもサンタ帽を被った人がいたが、ここではカラオケを楽しんでいる若者グループがいた。ロープウェーが点検で止まっていたせいなのか、家族連れが少ない気がした。

昼休憩後は、全員で記念写真を撮ってから摩耶山頂三角点まで行き、大杉林の間を抜けながら石段が不整然な尾根古道を慎重に下った。史跡公園まで戻り、山門を抜けて分岐点を青谷道方面へと歩を進めた。

先行するハイペース組がどうにか見える距離で下っていたが、小休憩後にはぐれた。行者堂跡を過ぎ旧摩耶道に入る道標があつたが、ここで青谷川沿いの道へ進んだため、先行組と別ルートを進んでいた。10分ぐらい下って道を間違えた事に同行の田中氏が気づき会長に伝えたが、会長はこのまま下ろうと判断された。山道は下りだが段差も少なく舗装され歩きや

すかった。先行組が心配されていたらいけないので、携帯で再三連絡をとるが電波が届かず断念。

砂防ダムや茶畑の脇を抜け一気に下ると住宅地に出た。後はひたすら西へ向かい、行き止まりになると南へ下る。約30分街歩きし目的地の新神戸駅に14時半過ぎ到着した。

漸く先行組と連絡がとれ合流したあとは、地下鉄で三ノ宮まで戻り、恒例の三ノ宮居酒屋ザコバで、クリスマスパーティー兼会長の快気祝いに、1名の欠席のみで24名が参加し盛り上



がった。これも会長の人望の厚さだと皆さん満面の笑みで乾杯し祝福できた。

閉会後は折角三ノ宮まで来たのだからと、街頭でXmasケーキを買い帰路についた。楽しさ満載の2023年最後の山行でした！来年も同期に声掛けし参加します。会長、同行の皆さん及び会計の三木さん最後までお世話になり有難う御座いました。

## ■元旦ご来光登山

- 日 程：1月1日（月・祝）
- 参加者：L砂川(延) 小田 乙坂 木下 須増(孫2名) 野村 春本 三木(悦) 山本(正)
- 集合場所・時間：長尾新池駐車場・午前6時

## ◆今年の新年も良い天気に恵まれて

砂川(延)

本年のご来光登山・高御位山は良い天気に恵まれ高御位神社は例年のごとく多くの参拝者であふれていました。ご来光は、水平線に少し薄雲がかかり去年と同じで少し遅れて、7時10分頃のご来光となりました。これが私には幸いしてご来光に間に合いました。

集合時間を間違えて、新池駐車場から一人で高御位神社を目指して上がりました。頂上に着くと、既に参加者の皆さんは、いつもの場所に集まっていました。今年も良い一年でありますよう願っています。



## ■新春トレーニング山行

●日 程：1月3日（水）



●高御位山～桶居山コース

●参加者：1班：L小田 SL須増 三木(悦) 島谷  
2班 L徳本 SL高島 尾越 中村

●行動記録：長尾新池 9:20 発～高御位山(10:00 着)10:10 発～桶居山分岐(10:50 着)～37 番鉄塔(昼食)(11:55 着)12:10 発～桶居山(12:40 着)12:50 発～37 番鉄塔(13:10 着)～別所中池(14:05 着)14:15 発～209mピーク(14:45 着)～百間岩上(15:10 着)～鹿嶋神社(15:25 着)～長尾新池(15:50 着)

### ◆新春トレーニングは4度目

中村

「いつものコースで！」と申し込んで、例年通りかと思いきや、一緒に歩くメンバーは8名のみ。なんだか、毎週の土曜トレの雰囲気。会のみなさんで、初歩きを楽しむイメージとは、程遠かったけれど、それなりに和気あいあいとおしゃべりし、鹿島さんにお参りして終了することができた。

新春トレは今回で4度目の参加。初回は、桶居山を下ってきたあたりで、何度か足を引いたりメンバーから塩をいただいたりして、やっどこさの思いで歩きこなしした記憶が残っている。



2度目の参加で思い出すのは、ぐいぐいとみんなを引っ張っていくリーダー平井さんがまぶしかったこと。自分の同期生が、逞しく、また、誇らしく感じました。

3度目の参加では、桶居分岐のあたりからしんどくなって、桶居山はバスしてしまっただけでも最後まで歩き通すことができたのは、周りのメンバーの方々に励まし

てもらったお陰だった。そのメンバーの中には、現在退会してしまった人もいて、ちょっと悲しい。

山行に参加して、いつも調子よく歩けるというわけにはいかないかもしれないけれど、ずーっとこの先も山歩きを楽しみたい。山遊会の皆様、これからも宜しくお願い致します。

●北山～高御位山～鷹ノ巣山コース

●参加者：1班 L 乙坂 SL 平井 一瀬 坂本 笹木 砂川(延)

2班 L 安田 SL 森本 阿久津 上田 臼井

●行動記録：長尾新池 9:25 発～北山鉄塔(9:50 着)9:53 発～小高御位山分岐(10:20 着)10:30

発～高御位山(10:55 着)11:25 発～鷹ノ巣山(12:25 着)～百間岩(13:03 着)

13:08 発～鹿嶋神社(13:17 着)～長尾新池(13:47 着)

※2班は小高御位山(10:20 着)10:35 発～高御位山(11:05 着)11:30 発以後は1班に追従して行動

## ◆新春トレに参加して

阿久津

今年は通常のコースともう1つ、北山～鹿嶋神社のショートコースとの選択だったので、私はショートコースに参加しました。北山登山口は、降りることはあっても登ることはあまりなかったため新鮮で、山頂手前の急登は登り応えがありました。

縦走路を進み、百間岩への分岐前で一息ついた時、「私たちはもうすぐ下山だけど、通常コースは今どのあたりかなあ。雨降らないで欲しいね」と皆で桶居方面を見ながら話し、下山に向け足を進めました。

鹿嶋神社ではオバケ屋敷があったり、美味しそうな出店に行列ができていたり、コロナ禍前の賑わいを少し取り戻したのかなあと感じました。

年始はとても暖かく穏やかな気候が続いていましたが、元旦から能登の方では大災害が起こり、悲しく辛い思いをされた方が沢山。その後も避難生活で苦労をされている方や懸命に救助・支援されている方々に、心から応援したい想いと今後の安寧を強く願った 2024 年のスタートとなりました。



## ■金城山Ⅱ(西脇市)

●日 程：1月8日(月・祝)

●参加者：L藤本 SL春本 小田 乙坂 木下 坂本 島谷 徳本

●行動記録：高松霊園 9:35 発～金城池(9:50 着)～P268(10:45 着)10:46 発～吊尾根(11:15 着)11:20 発～金城山(12:25 着)12:30 発～箆ヶ谷(13:15 着)13:25 発～高松霊園(14:05 着)

### ◆シダ藪に難儀した金城山

小田

西脇市立高松霊園に集合し、ストレッチをしていると雪がチラチラして、冷たい朝でした。事前にリーダーより藪が濃いので、真新しい服は着てこないほうがいいでしょう。と情報ももらっていたので、破れてもいい服を着て、藪漕ぎを覚悟でいざ出発。左手に頼政池の水面に映る美しい景色を見ながら山道を進む。両脇には歌碑が多数ありました。金城池から北に向かう尾根に取付きの所は、いきなり大きな岩をよじ登るのにヨイショ！。しばらく岩尾根を歩き振り返ると眺めが良く、空気も澄んで気持ちが良かった。268mピークを目指すにつれて木々が繁る藪に突入。イバラや小枝が体に絡まり払いのける。足元はシダが茂って見えない。シダを掻き分け、まるでプールの中を歩いているような感覚で歩きづらい。下ばかり見ていると何度かリーダーの姿が見えなくなり「どっちですか～」と声をかける。展望の良い吊尾根の途中で休憩。三草山、大坂山、鳴尾山、角尾山、西脇市街地が見えた。吊尾根の最後の急登を登りきり、振り返ると大パノラマの眺望が待っていた。遠くに明石大橋を挟んで雌岡山、雄岡山が見えた。スゴイ！最高のロケーションで感激した。三草山、善防山、高御位、笠形山は、どこかなあ？と知っている山を探す。ここで昼食をとり、頂上に向かう。金城山(399m)山頂に到着。木々に囲まれて眺望もなく、三角点と梵字の石碑があるだけでした。昔ここに長明寺が建っていたそうです。あまり広くないのにお寺があったとは想像できません。

下山も藪で激下りなので、木を持って慎重にリボンを頼りに下りていきます。けがをしないようにゆっくり一步一步、足下を確かめながら歩きました。藪を抜けて南を見ると、歩いてきた吊尾根が見え、ほっと一息つけた。えびらヶ谷に下りて来た。河原にあった四天王石に無事登山が出来たお礼をいって、最後に長明寺の源頼政の鶴退治の像を見に行った。

藪さえなければ、良いコースなのになあ～っと思う。誰にも出会うことが無かったので、登る人も少ないのであろう？整備する方が居られないと藪化していくのが、残念だなあ、、、藪漕ぎに難儀しましたが、いい経験が出来ました。有難うございました。

